

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 31 日

事業所名 放課後等デイサービス ハグ田島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	活動に合わせて空間を展開している。	誰がどこに配置されているか職員間で把握し合う。
	2 職員の配置数は適切である	7	0	死角が生じないよう職員の配置や声の掛け合いを工夫している。	児童の動きに追従し、建物による死角や支援内容による配置の見直しを行い、支援や視野が行き届くよう工夫する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	難しい点は支援員による支持。	既存のハード面についてはバリアフリー化のパーツ設置やクッション材の設定等で安全面の強化に努める。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	6	1	前回利用時の振り返りから次の発展先を検討して支援にあたっている。	個別の評価や頻度に関してはより強化を図る余地がある。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	紙面に限らず随時口頭でも質疑応答に対応している。	アンケート内容から、現在行っている支援についてサービス向上を模索していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		公表していることをお便り等を介して報告を行う。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		定期的な第三者評価会を設け、事業所の評価と改善面の把握に努める。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3		研修会の頻度やジャンルを広げ、参加者の人数も偏らないよう工夫する。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		具体的に進められる支援や、成長に伴ったスキルアップについて向上性を図る。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	言語以外での伝達ツールを用いる。	スタッフでの対応力・応用力にばらつきが見られるため実践スキルの向上を図る。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	担当者を割り振り、計画的に立案を行っている。	立案から計画発表までの事前準備を余裕を持った期間で執り行う。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	3	児童のスキルに合わせて活動を多彩化させている。	利用児童に対し、協調性を図りやすく応用度の高いプログラムやイベントの工夫を行う。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	利用児童にもリクエストを尋ね、プログラムに組み込んでいる。	活動意欲や成功体験の向上を促せられるよう工夫を行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	全児、ルーティンとして共通の活動の流れになっている。	時間配分や活動ジャンルや内容については、利用児に合わせて臨機応変な対応を図っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	5	イベント前には計画書を介し事前に流れや配置を確認している。	当日に確認するタイミングが設けられなさそうな場合には事前に連絡版等で情報共有や打ち合わせを行い、業務への準備を整えている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	5		情報発信者の乏しさや、共有の乏しさが課題であることを意識し合い、業務前の事前準備を強化する。また、掲示板での情報共有を整える。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	記録者と支援者を時間で分担するなどして支援内容を細かく記入できるようにしている。	記入のタイミングや文章での簡潔な伝え方について研修を行う。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2	モニタリング結果を支援員に報告し、今後の支援について全支援員で検討する。	見直しの際に向上性の高い支援案を全支援員から聴取し反映させる。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2		ガイドラインについての学習会を行い、支援の質向上を図る。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		管理者だけでなく支援員も同行し研修を行う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	普段から細かい情報共有を図り、些細な変化についての情報共有や迅速な対応に配慮している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2		必要事項に合わせ関係各所との連絡、情報共有を図る。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		管理者以外のスタッフも会に参加し情報共有度を高める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2	相談支援事業所へ連絡協議会を設けて対応している。	保護者へも今後の福祉サポート体制についても説明を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		関係機関との窓口を広げる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3		地域の児童に限らず、児童らとの共有の場を拡張していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3		管理者以外の参加等で地域への介入を強化する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時に連絡帳の内容外の引継ぎも口頭で保護者に行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		ペアレントトレーニングの研修を行い、対応できる職員数の向上を図る。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時以外では随時質疑応答を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	普段から相談しやすい声掛けの頻度を高める。	保護者・支援者共に声を掛け合える関係性を強化する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	半年に1度の頻度で保護者会を行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	管理者を介し早急に適切な対応を心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	毎月お便りを介し報告を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵付き書庫にて厳重に管理を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	電話での対応も含め早期対応に努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1	夏季休業時、冬季休業時の行事に参加して頂いている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0		職員での研修やケースの多彩化を課題として、対応力の強化を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		職員での研修やケースの多彩化を課題として、対応力の強化を図る。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	弁護士等による研修で法的な面からも虐待防止についての研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	緊急時・危険回避時について会議等で模擬を行い、対応について一律な対応を図っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	事前に頂いた情報を基に対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	予測される事例や困難事例についての対応を随時会議にて周知させ回避に努めている。	